

第4学年 国語科学習指導案

児童 4年 男11名 女13名 計24名
授業者 教諭 菊池 聖子

1 単元名 人物の様子や気持ちの変化を考えて読もう 「ごんぎつね」(東京書籍 4年下)

2 単元について

(1) 教材について

本単元の主な指導事項は、C読むこと(1)ウ「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。」である。言語活動は、C(2)ア「物語や詩を読み、感想を述べ合うこと。」に対応する。

本教材は、4年生になって3度目の物語である。最初の「こわれた千の楽器」では、読むことを通して場面の様子や人物の気持ちが伝わるように音読に取り組んできた。「世界一美しいぼくの村」では、家族やふるさとを思う心を描いた気持ちの変化を読むために叙述を基に場面の様子を想像し、人物の気持ちの変化を捉える学習を行ってきた。これまでの学習で会話文や心内表現から人物の気持ちを想像することはできるようになってきている。しかし、行動や地の文から関連して読み取ることに難しさを感じる児童がいる。また、課題解決をするために目的意識を持って読書をし、いろいろな視点で物語を読み取ることについては、まだ経験は少ない。

本教材では場面の移り変わりとともに変化する人物の心情を読み取る力をつけることをねらいとしている。児童の興味のある動物が中心人物であるということで、自分の取り巻く現実や経験と合わせて物語の世界を豊かにそして具体的に感じ取ることができるようになっていく。また、本単元の学習を通して、登場人物に興味をもって読み進めたり、叙述を基に読み取っていく中で人物の心情の変化を読み取ったりすることができる。と考える。

(2) 本単元における言語活動について

単元を貫く言語活動として、「リーフレットを作っておすすめの本を紹介する」ことを位置づける。リーフレットには、あらすじ、物語の世界・場所・様子、主な登場人物の性格や人柄、登場人物の気持ちの変化や情景、心に残ったところなどに視点をおいて書くこととする。本教材と同様の言語活動を三次に取り上げることで、叙述を基にして想像して読むことにつながる活動である。と考える。

3 単元の目標

- 物語に興味を持ち、人物の気持ちの変化に気をつけて楽しんで読もうとする。 【関心・意欲・態度】
- 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むことができる。 【読むこと(1)ウ】
- 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(ア)】

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読むこと	言語についての知識・理解・技能
・叙述に即して物語を読み、感じたことや考えたこと進んで伝えようとしている。	・場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読んでいる。	・登場人物の行動や心情を表す表現に気づき、その意味を感じている。

5 単元の指導と評価の計画

次	時	主な学習活動	評価規準と評価方法
第一次	1	○読書経験を振り返る。 ○教師の作成したリーフレットを示し、「新美南吉の作品やきつねの出してくる本を紹介する」という学習のめあてを設定する。	関 これまでの読書経験を振り返ったり、教師のリーフレットを読んだりすることから、学習のねらいを確かめ、興味をもっている。（行動観察・発言）
	2	○「ごんぎつね」を読み、感想を書く。 ㊦初発の感想を交流し、多様な考えに気付く。【グループ】	関 物語に興味を持ち、登場人物の性格や行動について感想をもつことができる。（発言、ノート）
	3	○リーフレット作りの視点を考え、学習計画を立てる。 ㊦リーフレットに載せたい内容を出し合い、迷っていることを助言し合う。【ペア】	読 リーフレットに載せたい内容を考え伝え合っている。（ワークシート・発言）
第二次	4	○話のあらすじをつかみ、見出しを書く。 ㊦まとめたあらすじを交流し、友達の考えを知る。【グループ】	読 あらすじをまとめている。（ノート・発言）
	5	○「ごんぎつね」の全文から受ける印象を読み取る。 ㊦まとめた印象を交流し、多様な考えに気付く。【グループ】	読 物語の世界・場所・様子に着目して印象をまとめている。（ノート・発言）
	6	○ごんの性格を読み取る。 ㊦読み取ったことを伝え合い、多様な考えに気付く。【グループ】	読 ごんの境遇や性格を読み取っている。（ノート・発言）
深める 本時	7	○ごんの心情の変化を読み取る。 ㊦読み取ったことを伝え合い、考えの良さを見つける。【グループ】	読 ごんの心情の変化を読み取っている。（ワークシート・発言）
	8	○心情が変化してきた根拠を読み取り、一文にまとめる。 ㊦変化してきた理由を話し合い、考えを確かめ合う。【グループ】	読 読み取ったことを一文にまとめている。（ワークシート・発言）
	9	○今まで学習してきたことをもとにして、「心に残ったところ」を書く。 ㊦書いた記事を伝え合い、友達の考えを知る。【グループ】	読 「心に残ったところ」を書いている。（リーフレット・発言）
	10	○教材文を紹介するリーフレットを作る。	読 リーフレットを作っている。（リーフレット・発言）
	11	○リーフレットを読み合い、感想を紹介し合う。 ㊦自分の作品との共通点や相違点をみつける。【グループ】	読 リーフレットを紹介し合い、共通点や相違点をみつけている。（ノート・発言）
第三次 広げる	12 13	○自分のおすすめの本を紹介するリーフレットを作る	読 第二次で行ってきた読み方を用いながらリーフレットを書いている。（リーフレット）
	14	○完成したリーフレットを用いて本を紹介し、感想を述べ合う。 ㊦感想を伝え合い、友達の考えを知る。【グループ】 ○単元の振り返りを行う。	読 リーフレットを紹介し合い、感想を述べている。（リーフレット・発言）

6 本時の指導

(1) 目標

中心となる人物の変容のきっかけをとらえ、心の変化を一文にまとめることができる。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	・指導上の留意点 ◇評価
つかむ 3分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 ごんの気持ちがどのように変わった話か一文で表そう。	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示や挿絵をもとに、ごん的心情の変化を振り返る。 ・リーフレットに、中心となる人物の気持ちを一文にして書くことを確認する。 ・ごんが中心となる人物であることをおさえる。
見通す 10分	3 見通しを持つ。 ・一文でまとめる方法を確認する。 ※「変わる前の中心となる人物の気持ち」が「変わるきっかけとなる山場」で「変わった後の中心となる人物の気持ち」になる。	
深める 17分	4 一人学びをする。 ・五の場面の後半から六の場面を読み、ごんが大きく変わるきっかけとなる文の一つを選ぶ。 5 考えを深める。 ・自分の選んだところとその理由についてグループの中で考えを伝え合う。 【グループ学習】 ねらい 大きく変わるきっかけとなった文とその理由を出し合い、考えの同違を分類することで、お互いの考えを確かめ合う。 進め方 考えを書いた付箋を拡大文に貼り、分類する。 広め方 リーダーが付箋でまとめたものを全体の場で発表する。 ・大きく変わるきっかけとなったところとその理由を全体で話し合う。 ・なぜ変わったのか。 ・うなずいたごんはどんな気持ちだったか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ごん的心情が大きく変わるきっかけとなる文とその根拠を考え、付箋に書く。 ・友達の考えをグループ全員で理解し合うために付箋を用いた活動を行う。 ・話し合いのカードを配る。 ・変容前の「おれがくりやまつたけを持って行ってやったのに。」と、変容後の「ぐったりと目をつぶったままうなずきました。」に注目させ、変容のきっかけを絞り込む。 ・変容の理由をグループごとに発表させる。 ・絞り込んだ後、P 2 0 L 3～P 2 2 L 4を一斉読み、イメージをさらに深める。
まとめる 15分	6 学習のまとめをする。 ・ごん気持ちがどう変わったか一文にまとめる。 Bと捉えるまとめ方の例文 ひとりぼっちのごんがつぐないの思いを兵十に気づいてもらえたことによって、うれしさを知る話。	<ul style="list-style-type: none"> ・～と思ったごんが、～によって、～と思った話のようにまとめさせたい。 ◇大事な言葉を落とさず心情の変化を一文にまとめている。 【評価規準】 A ごん気持ちを代入して書いている。 Aに入ってほしい大事な言葉 ・ひとりぼっち・つぐない ・気づいてもらえた ・心を通じ合わせることでうれしさ B つぐないをしているごんから書いている Bに入ってほしい大事な言葉 ・つぐない・気づいてもらえた ・うれしさ 支援の手立て 大事な言葉を教える。 ・学習全体を通しての感想をもたせる。
	7 本時の学習を振り返る。	

